

MRI、心理検査を受けた皆様へ（臨床研究に関する情報）

病気の原因の解明、病気の予防・診断・治療の改善、生活の質の向上などのために、人を対象として行われる研究のことを臨床研究といいます。より良い医療の発展のために、多くの研究対象者さんに臨床研究にご協力頂くことが必要です。

放医研では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、本研究とは別途に実施された別の臨床研究のデータをまとめて解析することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる研究対象者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

[研究課題名] MRIを用いた精神疾患の病態解明及び客観的診断法確立のための多施設共同研究
(実施期間:2018年7月9日～2025年3月31日)

[まとめてデータを解析する対象となる別途に実施された臨床研究]

- 「機能的MRIと生理心理指標を用いた社会認知メカニズムの解明」
- 「ドーパミン作動性神経系と自己意識・他者意識との関連」
- 「セロトニン作動性神経系と視知覚体験に関する研究」
- 「解離・転換症状の認知神経機能に関する研究」
- 「糖尿病神経障害に伴う痛み体験と脳内ノルエピネフリントランスポーター及びセロトニントランスポーターに関する研究」
- 「主観的体験の生成メカニズムの解明」
- 「ニューロフィードバックと認知神経機能に関する研究」
- 「視知覚体験の認知神経基盤研究」
- 「糖尿病神経障害に伴う痛み体験に関する研究」

[研究機関] 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所

[研究責任者] 山田 真希子

[共同研究機関] 国立大学法人広島大学、(株)国際電気通信基礎技術研究所

[研究の目的]

精神疾患の診断方法を確立させるためには、多くの方の脳画像データを解析することが必要ですが、個別の研究グループが短期間で多くのデータを集めることは難しいです。そのため、本研究では、多施設で行われた脳画像データを共有し、多数例で脳画像の解析を行うことで、精神疾患にはどのような脳の特徴があるのかを調べることを行います。

[研究の方法]

- 対象となる研究対象者さん

2009年4月から2018年5月の間に放射線医学総合研究所にて行われた上記の研究に参加した方で、MRI検査を受けた方

- 利用する研究情報・利用方法: 年齢、性別、脳画像データ(MRI、脳波)および心理検査データ(行動実験データ、質問紙データ)

別途実施済みの研究データを使用しますので、新たな質問や検査の必要はありません。

[個人情報の取り扱い]

お名前や個人情報が出ることは、一切ありません。

利用する情報からは、お名前、住所など個人を直接同定できる個人情報は削除します。共同研究機関に個人を識別できる情報が提供されることもありません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も研究対象者さんを特定できる個人情報は利用しません。

**この研究にご自分の研究記録を使用されることを辞退したい方は、2020年5月20日までに
下記[問い合わせ先:窓口]にお申し出ください。**

この調査へのご自分の診療記録の使用をお断りになったとしても、なんらかの不利益を受けることはありません。いつでもお断りいただけますので、その場合は、下記[問い合わせ先:窓口]にお申し出ください。ただし、期日を過ぎてデータが解析でまとめられてしまった後等には取り除くことができない場合があります。

[問い合わせ先:窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

量子科学技術研究開発機構臨床研究支援室

電話;043-206-4713 平日: 9:00 ~ 17:00